

(2) 教学委員長・学生部長・学事課長

・教学委員長	奥山 則子	教授
・学生部長	茅島 江子	教授
・学事課係長	深澤 博臣	

3) 大学院学生数（医学系専攻博士課程）（平成21年5月1日現在）

学年	定員	人員	内 訳		大 学 院 委 員 会				
			男	女					
1	66	21	18	3	委 員 長：栗原 敏 学長 委 員：馬詰 良樹 教授 渡邊 直熙 教授 松藤 千弥 教授 矢永 勝彦 教授 オブザーバー：高木 敬三 専務理事	阿部 俊昭 教授 細谷 龍男 教授 中川 秀己 教授 山田 尚 教授			
2	66	27	17	10					
3	66	20	15	5					
4	66	19	15	4					
計	264	87	65	22					

4) 大学院学生数（看護学専攻修士課程）（平成21年5月1日現在）—21年4月開設

学年	定員	人員	内 訳		大 学 院 委 員 会 （ 修 士 課 程 ）				
			男	女					
1	10	12	0	12	委 員 長：菊地登喜子 専攻長 委 員：柿川 房子 教授 藤村 龍子 教授	櫻井 尚子 教授 茅島 江子 教授			
2	—	—	—	—					
計	10	12	0	12					

5) 大学および大学院など

(1) 医 学 科

I. 教学関係

1. 教学委員会

平成21年度医学科教学委員会は国領校選出委員2名および西新橋校選出委員15名の計17名で運営された。委員会は毎月2回定例で開催された。平成21年度の各教学委員の役割分担は以下の通りである。

医学科教学委員会：田嶋尚子（教学委員長）、渡辺直熙（副教学委員長）、寺坂治（副教学委員長）、中川秀己（学生部長、学生担当委員長）、羽野寛（副学生部長、学生担当副委員長）、福山隆夫（副学生部長、学生担当副委員長、1学年担当）、大川清（教育施設委員長、教育予算担当、2学年担当）、木村直史（試験委員長）、福島統、松藤千弥（カリキュラム委員長、カリキュラム自己点検・評価委員長）、柳澤裕之（3学年担当）、阿部俊昭（5学年担当）、小川武希（4学年担当）、川村哲也（臨床実習教育委員長）、中山和彦（学生相談室委員長）、福田国彦（学生保健指導委員長）、吉村道博（6学年担当）

2. 平成21年度医学科の進級、卒業者

1年：進級	99人	留年	3人	退学	2人	※除籍	1名
2年： "	106人	"	8人				
3年： "	93人	"	1人				
4年： "	101人	"	0人	休学	2人	退学	1人
5年： "	97人	"	0人				
6年：卒業	104人	"	0人				

以上の結果、平成22年度の学生数は1年—109人、2年—107人、3年—107人、4年—95人、5年—101人、6年—97人、合計616人

3. カリキュラムの改訂と経過

1年次のコース医学総論Ⅰのユニット「病院見学実習」を「病院見学・救急蘇生実習」に改組した。またコース医療情報・EBMⅠのユニット「コンピュータ演習」を「情報リテラシー」に改称した。2年次のコース医学総論Ⅱのユニット「前臨床実習Ⅱ（重度心身障害・難病医療体験実習）」を発展的に解消し「前臨床実習Ⅱ（重症心身障害児療育体験実習）」と「前臨床実習Ⅱ（地域子育て支援体験実習）」を新設した。3年次コース臨床基礎医学Ⅰではユニット「感染と生体防御・免疫」を「免疫と生体防御」に改称した。またユニット「免疫学実習」をコース臨床基礎医学Ⅱから移設した。コース臨床疫学Ⅲは「医療情報・EBMⅢ」に改称した。4年次のコース臨床医学Ⅰでユニット「臨床腫瘍学」を「腫瘍学Ⅱ」とし、3年次の「腫瘍学Ⅰ」との関係を図った。またユニット「リウマチ・膠原病」を新設した。5年次のコース臨床医学Ⅱにユニット「チーム医療構築ワークショップ」を新設した。6年次のコース選択実習にユニット「選択実習Ⅴ」を選択で新設し、学習機会を拡大した。

4. 教学委員と学生会委員との懇談会

例年同様に平成21年7月13日（月）、平成21年12月7日（月）に開催された。学生会からの主な報告は前年度活動報告、会計報告、平成21年度予算案、京都府立医科大学定期戦成績（7勝14敗）、第52回東日本医科学学生総合体育大会成績、慈恵祭の準備・報告、学生のアンケート調査結果等であった。また、設備の改善および講義配布資料の改善に関する要望があった。

5. 第45回～第50回 Faculty Development

平成21年4月以降の開催および修了証を授与された参加者数は以下の通りである。

第45回 Faculty Development

日 時：平成21年5月30日（土）

場 所：西新橋校

テーマ：試験問題作成

修了証受領者（25名）

第46回 Faculty Development

日 時：平成21年9月12日（土）

場 所：西新橋校

テーマ：基礎医学チュータートレーニング

修了証受領者（34名）

第47回 Faculty Development

日 時：平成21年10月24日（土）

場 所：西新橋校

テーマ：クリニカル・クラークシップ指導医養成

修了証受領者（23名）

第48回 Faculty Development

日 時：平成21年10月25日（日）

場 所：西新橋校

テーマ：家庭医実習

修了証受領者（家庭医実習指導医5名）

第49回 Faculty Development

日 時：平成21年10月31日（土）

場 所：西新橋校

テーマ：在宅ケア実習

修了証受領者（学外指導者・医学生9名）

第50回 Faculty Development

日 時：平成21年12月12日（土）

場 所：西新橋校

テーマ：OSCE 評価者トレーニング

修了証受領者（34名）

6. 第47回～第48回医学教育セミナー

以下のとおり開催された。

第47回医学教育セミナー

日 時：平成21年7月16日（木）

場 所：西新橋校

講 演：地域医療現場での教育改善—英国での教育アドバイザー

Diana Kelly

Education Adviser

King's College London School of Medicine

at Guy's, King's College and St Thomas' Hospitals

Sherman Education Centre

4th Floor, Southwark Wing

Guy's Hospital

London SE1 9RT

第48回医学教育セミナー

日 時：平成21年11月9日（月）

場 所：西新橋校

講 演：英国キングス大学の医学教育カリキュラム

Prof. John Rees

King's College, Division of Medical Education Sherman

Education Centre

7. 第32回～第34回カリキュラム特別検討会

以下のとおり開催された。

第32回カリキュラム特別検討会

日 時：平成21年8月6日（木）

場 所：西新橋校

テーマ：学内試験の改革—試験によって学生の学び方はどのように変わるか—

第33回カリキュラム特別検討会

日 時：平成21年11月16日（月）

場 所：西新橋校

テーマ：4年次の講義で何を伝えるか—1コマ70分間の新しい講義に向けて—

第34回カリキュラム特別検討会

日 時：平成22年1月18日（月）、平成22年1月20日（水）

場 所：西新橋校

テーマ：4年次の講義時間短縮と講義担当者の心構え

8. その他の報告事項

1) 新入生オリエンテーション

平成21年4月10日（金）、11日（土）の両日、新1年生を対象にオリエンテーションが行われた。初日は、学長より建学の精神と医学生としての心構えについての講話、小論文作成、学生生活アドバイザーとのグループ討論ならびに懇談会等があり、2日目はカリキュラム、健康管理の説明、学生生活等についての諸注意が行われた。

2) 首都大学東京から学生の受入れ

首都大学東京との教育・研究交流協定書に基づき特別科目等履修生を受入れた。

平成21年度は国領校3名、西新橋校4名、合計7名の学生の単位を認定した。

3) 学祖の墓参および学長、教学委員と学生の懇親会

学長、教学委員、学生代表が平成21年10月10日（土）に青山墓地に眠る学祖高木兼寛先生の墓参をした。また学祖を偲んで千代田区一ツ橋の如水會館で懇親会を開催した。

4) 学生生活アドバイザー

担当教員はそれぞれ4～5名の学生を受持っている。1年生は国領校教員および第三病院勤務教員、2年生は西新橋校基礎講座教員が担当している。また、総括と意見交換のためにアドバイザーが集まって懇談会を開催した。

5) 共用試験システム

「臨床実習開始前の学生評価のための共用試験システム」が例年どおり運用された。OSCEは平成22年1月16日（土）に西新橋校大学1号館8階演習室で、CBTは平成22年2月5日（金）に西新橋校4階講堂で実施された。受験者数103名、欠席者なしであった。またCBTは1名の再試験を2月26日（金）に医療系大学間共用試験実施評価機構で実施した。

6) 4大学学生教育交流会

本学と昭和大学、東邦大学、東京医科大学の4校が持ち回りで年2回の開催が続けられている。カリキュラム全般および臨床実習、卒業試験、医師国家試験、共用試験等に関する話題を中心に継続的な交流が図られている。平成21年度は戦略的大学連携支援事業を4校の協力で展開している。平成21年度の開催日および当番校は以下の通りであった。

第22回 平成21年 5月22日（金）東京医科大学

第23回 平成21年11月20日（金）東邦大学

7) オープンキャンパス

例年8月に行っている医学科大学説明会はオープンキャンパスに名称を改め、3回ともオープンキャンパスとして広報し、いずれも午後1時30分から開催した。終了後、大学1号館教育施設の見学と個別相談会を実施した。

1回目：平成21年8月22日（土）中央講堂 参加者：約650名

2回目：平成21年9月26日（土）中央講堂 参加者：約310名

3回目：平成21年10月24日（土）1号館講堂 参加者：約200名

8) 教育施設

医学科、看護学科の入学定員増加、首都大学東京からの履修生受け入れに伴い、国領キャンパス620講義室の改修工事（教育機器の充足、収容定員数を185席に）を行った。

II. 入学試験

1. 入学試験は、平成22年2月4日（木）に五反田TOCビルで一次試験を、2月13日（土）・14日（日）に本学西新橋校舎で二次試験を実施し、2月18日（木）午後3時に合格発表を行った。志願者数は2,576名、入学者数は106名である。

入学者の内訳は下記の通りである。

① 男子 67名、女子 39名

② 現役 33名、1浪 55名、2浪 13名、その他 5名

③ 地域別入学者数

北海道	1名	東北地方	4名
東京および関東地方	87名	甲信越・北陸地方	1名
東海・近畿地方	6名	山陽地方	1名
四国地方	2名	九州地方	4名

III. 国家試験

1. 医師国家試験

第104回医師国家試験は平成22年2月13日（土）～15日（月）の3日間に渡り実施され、結果が3月29日（月）に発表された。

本学からの受験者数は105人であり、合格者97人、合格率92.4%であった。全国平均合格率は89.2%であり、本学の合格率は全国26位、私立7位であった。新卒者については103人中合格者96人、合格率93.2%（全国平均92.8%）、既卒者については受験者2人中1人が合格し合格率

50.0%（全国平均52.4%）であった。

IV. 退任記念講義

平成22年1月30日（土）午後3時から大学1号館講堂において開催された。

馬詰 良樹 教授（分子生理学講座）

演 題：「気ままな生理学」

田嶋 尚子 教授（内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌内科）

演 題：「糖尿病の臨床疫学—私の歩いてきた道—」

基礎医学、臨床医学の分野で活躍された2教授の含蓄ある講義に学生及び教職員一同が大変感銘を受けた。次いで渡邊直熙副教学委員長から同じく定年退任される久保政勝教授（小児科学）、古幡博教授（ME研究室）、の略歴が紹介され、栗原敏学長より挨拶があり記念品が贈呈された。また、学生会より記念品並びに花束贈呈があり、同窓会、父兄会より記念品の贈呈があった。

退任記念講義終了後、退任される4教授を囲んで退任記念パーティーが「東京プリンスホテル・サンフラワーホール」にて開催された。会場には、教職員、同窓、学生が参集し、盛大なうちに会は終了した。

(2) 看護学科

I. 教学関係

1. 教学委員会

看護学科教学委員会は看護学科教学委員長1名、看護学科教学委員4名をもって構成され、教学委員会は定例として毎月1回開催されている。

教学委員は以下の通りである。

平成21年4月～平成22年3月

教学委員長 奥山 則子

教学委員 藤野 彰子、櫻井美代子

茅島 江子、平尾真智子

2. 教学関連の主な事項

- ① 平成21年度は、1年生（18期生）42名、2年生（17期生）41名、3年生（16期生）43名、4年生（15期生）35名で新学期をむかえた。
- ② 平成21年度オリエンテーションは、4月10日から16日に実施し、期間中のテーマを「私のキャリアデザイン」とし、徳永瑞子氏（聖母大学教授）による講演会（看護職として～これまで、いま、そして、これから～）やシンポジウム（テーマ～私のキャリアデザイン）を開催し、大変好評であった。また、健康診断や防災、防犯についての講習会、カルト教団への注意を喚起する講演も並行して行なわれた。
- ③ 平成21年度改正カリキュラムが1年生（18期生）に導入され、新規に開講された科目などの実際的な対応を行った。
- ④ 次の期間に定期試験を実施した。
 - ・前期 平成21年6月27日
平成21年8月31日～9月18日
 - ・後期 平成22年1月26日～2月6日
- ⑤ 平成21年7月25日、17期生の「看護への思いを新たにする式」の一環として、三村昭美氏（東京慈恵会医科大学附属病院看護部主任・・・本学3期生）による講演会が実施され、9月5日に本学関係者、ご父母をお招きし、式典を行った。
- ⑥ 平成21年10月9日、「看護継続ゼミ」の一環として、川田龍平氏（参議院議員）による講演会（テーマ～生きるって楽しい、と思える日本になるために）を開催した。
- ⑦ 平成21年10月10日には学祖高木兼寛先生の墓参があり、学生代表が参加した。
- ⑧ 平成21年10月28日には解剖諸霊位供養法会が行なわれ、4年生が参加した。

- ⑨ 平成21年11月28日、4年生の看護研究発表会が行なわれた。
- ⑩ 平成22年3月12日には医学科と合同の卒業式が西新橋で行なわれ、15期生35名が卒業し、慈大賞と同窓会賞がそれぞれ1名に贈られた。

II. 入学試験

1. 平成22年度入学試験は、平成22年2月10日（水）に一次試験を、2月13日（土）に二次試験を実施した。志願者数は、329名、入学者は42名、その内訳は次のとおりである。
 - ① 女子 40名、男子 2名
 - ② 現役 32名、1浪 8名、その他 2名
 - ③ 地域別入学者数

北海道地方	1名	東北地方	1名
東京および関東地方	35名	信越地方	4名
東海地方	0名	近畿地方	0名
中国・四国地方	0名	九州・沖縄地方	1名
2. 平成21年度オープンキャンパスは、平成21年7月28日（火）と8月25日（火）・26日（水）の3日間実施し、参加者数は481名であった。内訳は、7月が190名、8月が291名であった。
3. 受験生の確保を目的に、学外で開催された3箇所の大学ガイダンス等に分担して教員・学事課職員が参加した。
4. 高等学校53校へ訪問し、本学のピーアールや看護について進路指導の先生方へ説明し、看護について理解を深めてもらった。また、模擬授業も4校で実施した。

III. 国家試験

1. 看護師・保健師国家試験

第99回看護師国家試験は、平成22年2月21日（日）に、第96回保健師国家試験は平成22年2月19日（金）に実施され、その結果が3月26日（金）に発表された。

看護師国家試験は15期生35名が、保健師国家試験は15期生35名、既卒者1名が受験し、全員が合格した。

なお、全国の看護師国家試験合格率は89.5%、保健師国家試験合格率は86.6%であった。

IV. 学生生活アドバイザー

平成21年度より、学生生活を稔り豊かなものとするため、学習上や生活上の悩みを気軽に相談できる学生生活アドバイザー制度を導入した。1、2年生を対象とし、比較的若手の教員が4～5名の学生を担当し、前期・後期それぞれ1回の交流活動の他、適宜自由に活動を行なった。学生アンケートの結果は好評であった。

(3) 大学院

1. 医学研究科博士課程

平成19年度より大学院改革を実施し、以後大学院の改善充実を図るため種々検討を重ねてきた。平成21年度は大学院をより充実させるよう検討を行った。

主な項目は以下のとおりである。

- 1) 透明かつ公正な学位審査会の実施
 - ① 学外から審査委員を登用した。
 - ② 乙種の学位審査料を見直し、論文指導手当として指導教授に手当を配当する。（平成21年度受付分より）
- 2) 本学の研究の充実とその活性化を図るための実施
 - ① 平成21年度の医学研究科研究推進費の採択件数は6件となった。（前年度比+3）
 - ② 研究奨励費と振興費を統合し、新たな助成制度を創設するための検討を行っている。平成20年度より医学研究科における研究の充実とその活性化を図るため医学研究科の助成制度（東京慈恵会医科大学医学研究科研究推進費）を創設し、平成21年度は6件採択した。（前年比+3）

3) 大学院教員へ Faculty Development の実施

大学院委員会と倫理委員会共催で FD「臨床研究に関する講習会」を 2 回実施した。

日 時：平成21年 6 月16日（火）18：00～ 講 師：薄井紀子

日 時：平成21年 6 月29日（月）18：00～ 講 師：藤原康弘

4) カリキュラムの内容の検証

- ① 共通カリキュラム必修科目「医学教育学」、「医の倫理」、「医学研究法概論」の授業コマ数を 8 コマとした。
- ② 当講義は大学院生のみならず研究者にとって有益な講義であったため、講義の一部を公開講義とし、社会人大学院生でも履修できるよう動物実験や医療統計学を土曜日に開講した。
- ③ 平成22年度から選択カリキュラムの授業の一部に e-learning システムを導入することにした。

平成22年度の大学院入試は 2 回実施し、1 回目は平成21年10月 3 日に、2 回目は平成22年 2 月 24日に実施した。その結果、35名（うち社会人 7 名）が合格した。この結果、大学院全体の学生数は102名となった。本学の大学院生は本学の各講座、総合医科学研究センターのみならず、国外ではカリフォルニア大学、ボストン大学、スタンフォード大学、ベイラー医科大学など、国内では東京大学、大阪大学、防衛大学校、慶應大学および放射線医学総合研究所、国立成育医療センター、国立感染症研究所など国内外の様々な大学、研究所でも広く研究を行っている。

2. 看護学専攻修士課程

本課程が平成21年 4 月に開講したのを受けて、課程の安定的な運営に努めるべく研究科委員会、大学院委員会、教学委員会、FD 委員会、大学自己点検・評価委員会、入学試験委員会を発足させ、運営を図った。

教員への教育研究支援として、博士課程と同様に授業料の返戻制度を利用して「研究指導費」を創設して、教員への教育研究支援制度を作った。

また、学生に対しては、博士課程と同様な「研究助成制度」を創設して、学生にとっては、研究指導費の院生使用分と研究助成制度により、活動の範囲や内容を高めるようにした。

入学試験は、募集を平成21年 9 月 1 日（火）～9 月25日（金）間に行い、出願資格認定試験を平成21年10月 3 日（土）、一般入学試験を平成21年10月18日（日）に実施した。

その結果、17名の応募があり、12名が合格した。

また、文部科学省へ大学等の設置に係る設置計画履行状況報告について、平成21年 5 月14日（木）に提出し、平成22年 2 月 5 日付で、「特段の留意事項は付さない」との通知を受けた。

6) 慈恵看護専門学校の様況

看護専門学校学生数（平成21年 5 月 1 日現在）

	学生総定員数	1 学年定員数	1 年生	2 年生	3 年生	計
	人	人	人	人	人	人
慈恵看護専門学校	300	100	102	104	99	305
慈恵第三看護専門学校	150	50	51	53	49	153
慈恵青戸看護専門学校	120	40			27	27
慈恵柏看護専門学校	240	80	84	76	55	215
計	810	270	237	233	230	700